

日本語教師養成講座 中級演習9回め講義

授業	中級技能指導	出席：9名欠：高橋	リアル7名 大嶋/大浦/那須/中川/崔/城田 /野村
授業日	令和2年12月23日(水)	午前	担当：平岡 佳梨加 (ひらおか よりか)
目的	中級も教えられる教師になる		
到達目標	能力試験対策 読解(1)		
授業ポイント	読み解くこと		
準備	PPT、広角レンズ	準備物	能力試験過去問題、読解問題集等
時間	講義内容・活動		指導上の留意点
1コマ	<p>読み解くことについて考える</p> <p>N2 能力試験について</p> <p>①言語知識(文字・語彙・文法)</p> <p>②読解</p> <p>試験で②を1問3分でやってみよう</p> <p>・やるためには、どんな工夫があればよい？</p>		<p>N2 能力試験の読解問題数 75 問 時間は 105 分</p> <p>グループワーク→発表</p>
2コマ	<p>過去問題 3 種の紹介</p> <p>過去問題 (1)</p> <p>まずやってみよう</p> <p>・答えの確認</p>		<p>傾向と対策</p> <p>中文読解問題</p>
3コマ	<p>過去問題 (1)</p> <p>解き方を考える</p> <p>3分で中文読解問題を解く方法</p>		

中級演習

平岡 佳梨加

yorikahiraoka@gmail.com

読解 試験対策

日本語能力試験

日本留学生試験

N2読解問題

「言語知識・読解」

文字・語彙・文法

105分で解く

75問：105分

短文：200字程度
中文：500字程度
長文：900字程度

- | | | |
|---|----------|-----------|
| 1 | 内容理解(短文) | 5問(1問×5題) |
| 2 | 内容理解(中文) | 9問(3問×3題) |
| 3 | 統合理解(中文) | 2問(2問×1題) |
| 4 | 主張理解(長文) | 3問(3問×1題) |
| 5 | 情報検索 | 2問 |

21問

読み解く (1)

過去問題

1. 中文

(10) 以下は、企業経営について書かれた文章である。

いろいろな規則や罰則(注1)を作って、社員をがんがらめにして(注2)ひたすら働かせるというタイプの経営者も、まあ時には少ないとは思いますが、まだいることはいは、①そういう働き方が定着していると思うのは、たとえそれで社員の労働力を物理的に100パーセント引き出すことができたとしても、そのかわり精神面での労働力を捨てることになるからだ。

精神面での労働力というのは、たとえば創意工夫する(注3)能力だ。強制的に(注4)強制仕事をさせるやり方では、人の創意工夫の能力を引き出すことはできないのだ。人間の心は、自由なときにその本来の能力を発揮する。楽しんで、興味を持って何かをしているとき、人はいろいろなアイデアを思いつく。(中略)

そして、どんな仕事であろうとも、人間のする仕事には、この創意工夫の要素が重要な役割を果たす。一日中、ひたすらネジを締める仕事であっても、だ。どうすれば不良品を減らせるか、どうすれば作業効率(注5)を上げられるか、たとえばQC活動(Quality Control: 品質管理のこと)を通して、作業する人が自分たちで②そういうことを積極的に考えるようになるシステムを創(つく)り上げたからこそ、日本の製造業は世界一に変わったのだ。

そしてそういう能力を引き出すためには、従業員にとって、そこで働くことが本来の意味で自分のためになるという意識を育てることが欠かせない。

本人の幸せと会社の業績(注6)が一致すれば、責任感なんてものは自然に湧き、強制なんかしなくても、従業員はプライドを持って心から会社のために働こうとする。

(高橋伸也『企業を大盛りにするイノベーションの店は必ず築造する一読時に失敗しないビジネス経営哲学』による)

(注1) 罰則：違反したときに課せられるべき罰金や懲罰

(注2) がんがらめにする：こころを、縛る

(注3) 創意工夫する：新しいアイデアを考案出す

(注4) 強制的に：強要する

2. 短文

■ 読解18 問いに対する答えとして、最もよいものを一つ選びなさい。

文章では音楽と同じようにリズムがあります。音楽があるテンポで演奏されなければ音楽と認められないように、読解もしかるべきスピードで読まない知識として脳に入っていないのは「速読...法」という読解方法をあまり評価していません。

速読とはたとえるなら、「ベートーベンの第五シンフォニーを五分で演奏してしまおう」とことに相当します。しかし、そんなことをすればどんなに素晴らしい楽曲でも音楽として成立せん。

文字もそれと同じこと。夏目漱石の「坊ちゃん」を十分程度でパツパツと読んでしまった脳の中で行われる情報処理としては、残いものにならざるを得ません。

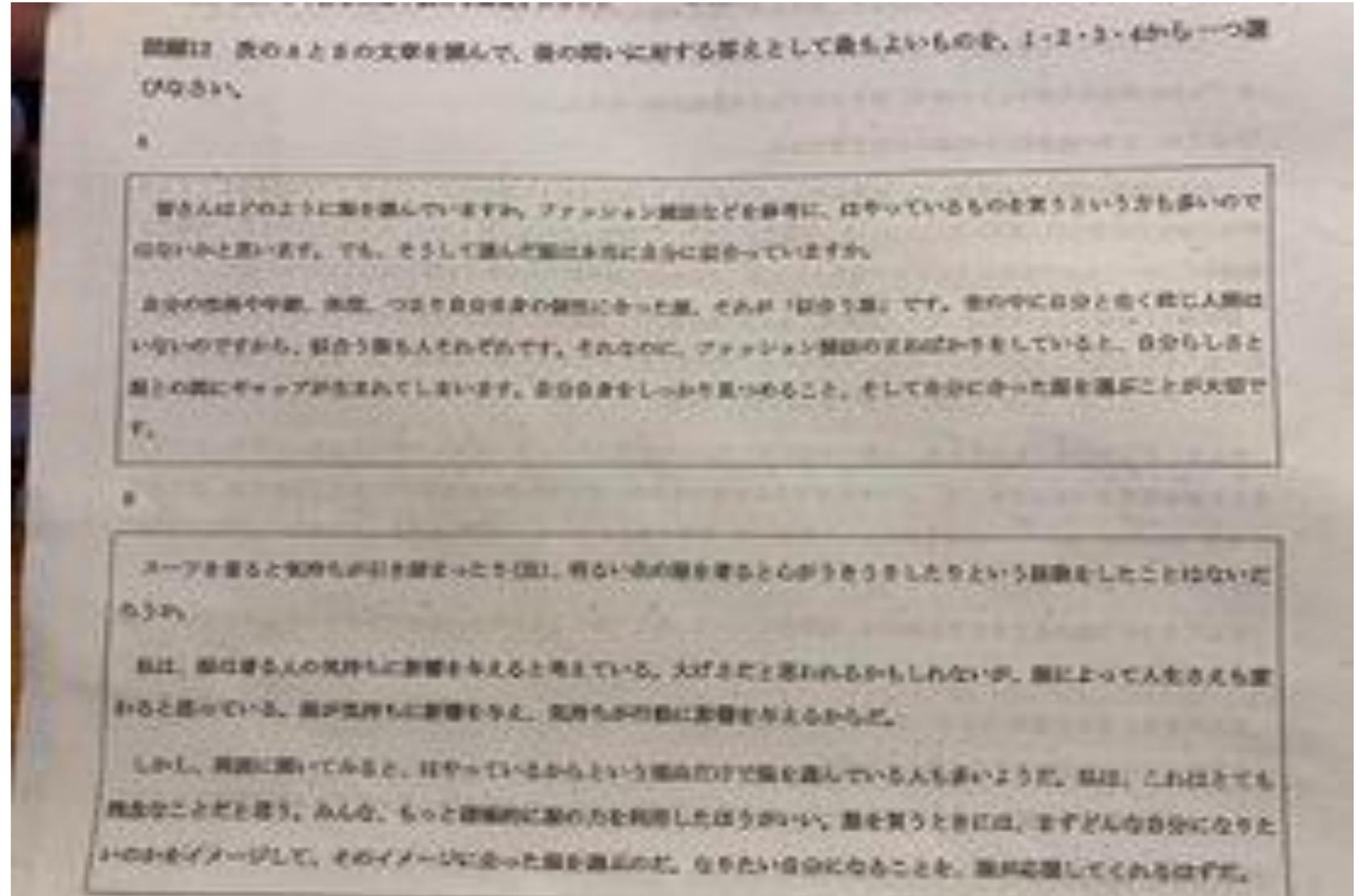
(夏目漱石「坊ちゃん」) 藤田和雄 日本語・英語学辞書 学研出版

① 速読で高いスピードで文章を読むこと
② 「夏目漱石」 藤田和雄の著書

■ この文章で著者が最も言いたいことは何か。

- 1 読解と同様に、音楽は演奏が速いスピードで行われると、成立しない。
- 2 速読では音楽と同様にリズムが重要で、スピードが速すぎると脳に入らない。
- 3 速読は、それによさわしい音楽とともに行うのが、最も効果的である。
- 4 速読は、音楽の演奏を音楽より短時間で終わらせることと同じで、いいと認めない。

比較(短文)



4. 情報検索



5. 文法読解

20時

ユベキ ユドロー

先日、サッポロの日本代表が海外で試合を行い、その試合が最初にテレビで生中継された。生中継が始まる前に、放送は何時からか確認しようというインターネットで調べて書いた。あるサイトに「金曜20時放送」と書いてあったので、「18時(19時)」。友人に聞いて、「金曜20時」というのは土曜の午前1時のことだと知った。「20時」のような表現は、昔の放送時間の誤字などで見るという。なぜ、午前1時を「20時」と表現するのだろうか。

(31) 表現を使い始めたのはテレビ局だとする説があるが、日本の多くのテレビ局では、朝7時放送以降の放送が始まり、そこから24時間を一週と考える。つまり、テレビ局にとっては、夜は20時が一周の終わりでない。22時、23時と来たら、その次は24時ではなく0時で、午前1時は0時なのである。このようにして「20時」という表現が (32) 。

現代の日本社会は夜型化が進み、午前1時を過ぎてまで活動している人が多い。だから、午前1時を過ぎても「今日」は続く。(33)。「起きてから寝るまでが今日」と考えれば、昔の午前1時ではなく、その日の0時と午後1時と午後2時とが実際の感覚に近い気もする。生放送の番組だと「寝るまでが今日」という考え方が、24時間しかない一日に「20時」を (34) 。

[35] 1. 20時間なのか	2. 20時間ではないのか	3. 24時間といえるか	4. 24時間だったのだろうか
[36] 1. こういう	2. それ以外の	3. 同じ	4. 次のような
[37] 1. 生まれることになっている	2. 生まれたとしよう	3. 生まれるといわれていた	4. 生まれたらしい
[38] 1. ただ	2. 一方	3. 確か	4. それでも
[39] 1. 作ったからだ	2. 作ったのだろうか	3. 作ったこともある	4. 作ったほどだ

受講生からの質問・気づき

中級演習

平岡 佳梨加

yorikahiraoka@gmail.com